

ひとひらのあい

片野秀俊

この夏に第一回定演を開いた我が登混は、この一年の想いを胸にクリスマスコンサートを開く。誰の心にもなつかしい曲を集めたこのコンサートは、これも初の試みであるチャリティコンサートなのだ。

僕は、かねてより今回のような、すなわちチャリティによるコンサートを希望してきたが、やっとそれが実現できる事をとてもうれしく思っている。

日頃忙しく時を過ごしている我々は、つい自分の視角の極端に狭まっていることを見失いがちではなからうか。現代社会のすべてが近視眼的な動きをさらに強めていく中で、だからこそ、本来のあるべき人間の姿を振り返り周囲を見回してみよう。限りない多くの問題を抱え悩み苦しむ人達、憎しみあうことの不幸を忘れがちな人達、そして歌う事の楽しさすら忘れてしまった人達…それらの人達に砂漠での一滴のしずくでもいいから潤いを。

その潤いを分かちあいたい。永い間そう思い続けてきた。(僕が音楽を我が道と選んだのにもそこに一番の理由があったのかもしれない)それが今、皆と一緒に実現できる事がとてうれしいのだ。

秋が来て枯葉が落ちて、あの美しかった青葉達はどこへ行ってしまふのかと悲しんだ幼い頃があったしかしその寂しさは感じながらも、一枚の葉が枯れ落ちて次の時代の生命を息づかせる力強い養分になっていくのだと思う時、どことなくうれしくホッとした気持ちになれるのだ。

ほんのひとひらの、それが精一杯の愛ではないのだろうか。本当は人は人のために生れ、人は人のために生きているのではないかと…。

(「登混だより」12月号より)

プロフィール

富士通川崎合唱団

富士通川崎合唱団は、今年で団創立41年目を迎えましたが、平均年齢25・6歳と若い団員ばかりで構成されています。団員数は15名と少ないものの、今年3月には第2回定期演奏会、5月には社内コンサートなども開き活気に溢れています。練習は毎週水曜日に社内の練習場で2時間半程行なっていますが、残業・出張等も多くなかなか全員が集まれません。(しかし出張のおみやげが楽しみという人も…)

登混さんとは、片野先生を通じて以前より交流があり、両団員を兼ねる者もいるなど、今回のコンサートでますます両団の交流が深まると期待しています。(大村昌義-富士通川崎合唱団団内指揮者)

登戸混声合唱団

登戸混声合唱団は、昭和54年春、片野秀俊先生を中心とする有志で結成されました。毎週1度の練習を重ね、例年の多摩区合唱のつどいや川崎合唱まつり、アミーチ・デル・カント・146に出場するなどの活動を続けてきましたが、この7月に第1回の定期演奏会を開いたところです。

結団当初は登戸付近のメンバーが多かったのですが、今では「チョット見学だけネ」と来てトリコになってしまった練馬の住人をはじめ、中野・世田谷横浜・杉並等、今はかなり遠くからも練習日を待ちかねて通ってきます。

毎週練習後、先生を囲んでのお茶会(自由参加)や時には飲み会、また楽しくも苦しい合宿など、親睦の場には事欠きません。「あったか〜い雰囲気」が自他ともに認める“のぼこん”の姿なのです。

団員募集中 毎週火曜日 pm.7:00~9:00 主に多摩市民館で練習

練習曲 組曲「川よ 永久に美しく」「富士山」
「蝶」他(64年7月 アミーチ・デル・カント1
46出演のため 於郵便貯金ホール)
登戸混声合唱団連絡先-TEL(044)977-6193 山下

川崎市・川崎市教育委員会・川崎市社会福祉協議会 後援

登戸混声合唱団

チャリティ

ひとひらの あいの コンサート

賛助出演・富士通川崎合唱団



1988年12月18日(日)
麻生文化センター大会議室

歌うことの喜びを、みんなと分かちあいたい…それがコーラスする心の始まりだったのではないでしょう。おこがましくもチャリティと銘打ったコンサートですが、ほんのひとひらのあいでもお役にたつことができたなら…との願いによるものでございます。ささやかなコンサートではありますが、心をこめて「あい」を歌わせていただきたいと思います。演奏するのはおなじみの曲ばかり、思い出の系をたぐりながら、心あたたかい宵を過ごしていただければ幸せでございます。

「一緒に歌おう！」と賛助出演をしてくださったのは富士通川崎合唱団の方々です。このコンサートの趣旨に賛同し、ステージに参加してくださった友情に深く感謝いたします。

なお、チャリティにつきましては、川崎市社会福祉協議会に託させていただきます。

最後になりましたが、歳末近くのお忙しいなかをおはこびいただきましてありがとうございます。来る年が、みなさまのうえに、幸せな年でありますことをお祈り申し上げます。

登戸混声合唱団

指揮 片野秀俊

昭和45年、プロ合唱団・日本合唱協会（日唱）へ入団。60年4月からは日本合唱協会正指揮者に就任して指揮界にデビューし、全国で公演を行なっている。一方アマチュア合唱団の育成にも力を注ぎ、各地の合唱団の常任指揮、講師、コンクールや合唱祭の審査・講評を務めており、常任指揮を務めている団を統合した会「アミーチ・デル・カント・146」を結成、3年毎に定期演奏会を催している。日本演奏家連盟会員、日本バッハアカデミー協会会員、日本合唱指揮者協会会員。日本合唱協会主宰、正指揮者。指揮法をヘルムート・リリング、山田一雄、荒谷俊治、諸氏に、声楽を下八川主祐、芳野靖夫、諸氏に師事。福島県いわき市出身。

ピアノ 広江 理江

桐朋学園大学音楽部ピアノ科卒業。ピアノを山田富士子、室内楽を末吉保雄、山口裕之、オルガンを池田泉の各氏に師事。現在、日本合唱協会正ピアニスト。

プログラム

指揮 片野 秀俊
ピアノ 広江 理江

1 冬の歌

たき火	異 聖歌 作詩 渡辺 茂 作曲 片野秀俊 編曲
冬の夜	文部省唱歌 片野秀俊 編曲
雪	文部省唱歌 片野秀俊 編曲
雪のふるまを	内村直也 作詩 中田喜直 作曲 増田順平 編曲
雪の窓辺で	薩摩 忠 作詩 三善 晃 作曲 片野秀俊 編曲

2 世界の名曲

フィンランディア	シベリウス 作曲 関 忠亮 訳詞
おどりうた	ドイツ民謡 岡本敏明 作詩
島原の子守歌	宮崎一章 作詩・作曲 伊藤英一 編曲
殖生の宿	ビショップ 作曲 里見 義 作詩 増田順平 編曲



みんなで歌おうクリスマス

3 クリスマス・ソング

神のみ子は	キャロル 片野秀俊 編曲
あらのはてに	キャロル 片野秀俊 編曲
Ave Verum Corpus	モーツァルト 作曲
もみの木	キャロル 片野秀俊 編曲
もろびとこぞりて	キャロル 片野秀俊 編曲
聖夜	キャロル 片野秀俊 編曲
White Christmas	バーリン 作曲 増田順平 編曲
ジングルベル	ピエールポント 作曲 片野秀俊 編曲

ヴァイオリンー西田和夫
フルートー大村昌義
パーカッションー大前直子
安永彩子



— 休 憩 —